



クイズde知ろう 宍陰 イベント等で大好評



今年は宍陰の二大イベントがお流れになったので、宍陰の魅力発信が十分にできませんでした。それを取り戻すべくさがのえがおワールド、右京区民ふれあいフェスティバル、京ベジフェスタ、L1マルシェに参加し、宍陰の広報活動を行いました。

イベントでは「クイズde知ろう 宍陰」を行い、クイズを通して宍陰を知ってもらおうという企画を行ったところ多くの人に楽しんでいただけました。クイズ参加者には景品として、ゆずサシェ、ファイル、絵葉書をプレゼントしたところ、大変ご好評をいただきました。

宍陰に興味をもっていただければ嬉しいですね。



スマホで宍陰を調べて答えを探すお父さんもいたゾ。こういうカンニングは嬉しいねえ！

京都市文化市民局地域自治推進室北部山間かがやき隊
宍陰・水尾地域担当 五明 昇祐
京都市右京区嵯峨嵯原宮ノ上町二―五 宍陰出張所
電話 〇七七一 四四 〇三一四

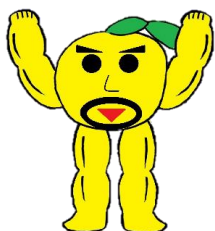
水尾 ゆずの季節到来

水尾に入ると、どこからともなくゆずの香りが漂ってきます。もう水尾はゆずの季節です。ゆず風呂のお店には多くのお客さんが近畿各地から集まってきて水尾がにぎやかになりました。

毎年恒例のゆずしぼり隊もはじまり、私も二十三日にお手伝いに行かせていただきました。常連の方から今回初めてという方も。全身にゆずの匂いを浴びて作業することにみんな満足しておられました。



もう体中
ゆずまみれや。



日の要慎

▽街中の人から「外国人観光客が増え、迷惑していることもある。でも来るなどは言えない」という話を聞いた。「お客様」だから文句は言えない、「本音」を言えば「差別」「排他的」と批判されることを恐れているようだ。

▽在日韓国・朝鮮人のような外国人と、日本語や文化が分からない外国人観光客とは異なる。前者に対するヘイトスピーチなどの差別は不当だが、外国人観光客による影響を被る住民が「迷惑」と思う「本音」を「差別だ」と責められるだろうか。

▽こうした「本音」に目を向けると、やはり地域の人々がいかに幸福に生活することができるかを第一に考えるならば、多言語による注意書きを充実させる、不必要に生活圏に観光客を呼び込まないように配慮することなどが必要だろう。

▽「本音」と「建前」は日本人の精神文化だ。「本音」に目を向けず「建前」だけの意見だけでまちづくり・地域おこしを進めることは後で大きな失敗につながりかねないだろう。

地域の人と子どもたちのふれあい

岩陰小中学校収穫祭

十一月七日岩陰小中学校の収穫祭にお邪魔しました。

午前中は地域の人々と児童・生徒が昔ながらの遊び（百人一首、お手玉、コマ回し）をしたり、しめ縄作りを行いました。百人一首は「坊主めぐり」でしたが、ローカルルール（蟬丸を引くと全部もらえる。など）もあってなかなか楽しむことができました。

昼は児童・生徒が作った大根や米を使った大根炊きに舌鼓を打ち、児童・生徒と地域の人々との交流の場となりました。私はあまりのおいしさに感動し、何杯もおかわりをいただきました。

最後に岩陰太鼓を鑑賞し、子どもたちの力いっぱい演奏に心打たれました。みんな頑張っていますね。



この大根炊きの味は感動ものやで。

* この影響か、後にまた地域の方から大根をいただいたこともあり、私の食生活は、大根炊きが中心になりました。ありがたいことです。でもあの味は再現できないなあ……



出張所前の看板

リニューアル



After



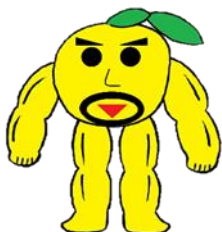
Before

以前、村山前々岩陰出張所所長（現・京北出張所次長）が制作された岩陰出張所前の看板が老朽化したので、私の方で新しく看板を作り替えました。幸い、伝手で木材やニスなどが入手できたり、古い看板の木材も再利用できたりと、ほぼお金をかけずに材料調達できました。

私は手先が不器用なのですが、何とか看板らしきものはできあがりしました。通りすがりの観光客の人は今日もこの看板を見つめています。少しでも岩陰のPRに貢献できたのではないかと、思っています。

看板に俺らが描かれてないやん。

何ということをしてくれたのでしよう……



* 相変わらずこいつらは……

隊員レギュラー出演
ラジオ放送のお知らせ
京都三条ラジオカフェ
FM 79.7MHz
毎月、第2、第4火曜日
12:00 ~12:06
12月は10日と24日です！
<http://radiocafe.jp/2019010001/>
↑ここから聴けます！